

令和5年度補正予算「品目団体輸出力強化緊急支援事業」 事業実施状況報告書  
(事業番号4-109)

【事業実施者名：一般社団法人日本青果物輸出促進協議会（会員名：山形県果実等生産出荷安定協議会）

- (1) 事業内容：香港における山形県産「ラ・フランス」の販売促進事業
- (2) 実施期間：2024年12月6日から12月8日
- (3) 開催店舗：YATA 沙田店、元朗店、將軍澳店 計3店舗
- (4) 実施内容：香港で山形県の特産品である「ラ・フランス」の新たな需要開拓をはかるため、日本産果実を多く取り扱っているYATAにおいて試食宣伝会を開催した。「ラ・フランス」は高価で香港での認知度が低く輸出量は伸び悩んでいたが、輸出拡大への重点品目としてPRを強化した。  
売場ではマネキンを配置し、試食提供と「ラ・フランス」の“食べ頃”や魅力を説明しながら販売訴求活動を実施した。

(5) 輸出数量：下記表のとおり

| 品目     | 量目       | 規格     | 数量（箱） |
|--------|----------|--------|-------|
| ラ・フランス | 5kg      | 18玉バラ  | 30    |
|        | 5kg      | 24玉バラ  | 10    |
|        | 4.8kg    | 4個入パック | 105   |
|        | SP 1.5kg | 6玉入化粧  | 12    |

<試食宣伝会の様子>



(6) 活動時の効果：

- ・ 競合果実が数多く売場に並んでいるなか、西洋梨に対する需要はやや少ない印象であったが、試食後は食味評価が高く、パック品を中心に販売は好調であった。
- ・ お客様に“食べ頃”の目安を説明して販売を行ったが、他国の西洋梨も通常販売されており、追熟に関しては一定の認識があったことは収穫であった。
- ・ 他国の西洋梨があるなかで「ラ・フランス」の食味は好評であり、フェア期間中は何度も足を運んでくれるお客様もいた。

(7) まとめ：

ア. 事業実施実績

- ・ 目標金額：40万円
- ・ 販売金額：37万円
- ・ 製菓見込み：93%

イ. 検証結果

- ・ 特産品である「ラ・フランス」は“食べ頃”の判断が難しく、高価なため他競合西洋梨と区別した販売戦略が必要となるが、試食後は大変好評となり、一定の需要獲得がはかられた。
- ・ 認知度が不足していることから、フェアにかかるバイヤーからの発注量は限定的ではあったが、生果での販売の他、加工品等との併売によるPR等も効果が高いと感じた。

ウ. 次年度に向けて

- ・ 認知度向上に向けて継続した試食宣伝会を広くPRしていく。
- ・ 店頭での試食宣伝に加え、SNSやインフルエンサー活用した宣伝も検討していく。
- ・ 生果に加え、加工品との併売を検討していく。